

光ヶ丘松林整備ボランティア

10月8日（土）酒田市が主催する光ヶ丘松林整備ボランティアに参加しました。

当日は穏やかな日差しがさす、温かな天気にも恵まれました。

開催に当たり、酒田市の農林水産部長より「刈払機や鎌等でケガをしないように注意して、酒田市を飛砂等の被害から守ってくれているクロマツ林を整備しましょう」と挨拶がありました。

この光ヶ丘松林整備ボランティアは平成12年度から行っている環境美化活動で、庄内砂丘のクロマツ林は、かつて先人達が酒田の町を飛砂や強風から守るために植林したもので、地域の暮らしや産業の基盤となっている歴史的な遺産です。この活動は、先人が残してくれたクロマツ林の下草刈りや清掃活動等を行うことにより、今度は市民自らの手で守り育てていこうという趣旨です。

ボランティアの参加者は総勢98名で、万里の松原班54名、光ヶ丘班44名の2班に分かれて整備を実施しました。整備内容ですが、万里の松原班では、草刈機及び鎌による下刈り、残材の運搬集積等の作業を実施しました。光ヶ丘班では、草刈機による下草刈り、鎌によるつる切り、ゴミ拾い作業を実施しました。

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターは、万里の松原班で鎌によるクロマツ林の下草刈り作業を行いました。大勢のボランティアの方々がいたので、たちまち万里の松原は綺麗なクロマツ林に衣替えをしました。今回は公益文化大学生の参加もあり新鮮味が感じられ、学生からは、次回も参加して庄内海岸林を守って行きたいと感想がありました。刈払が終了した万里の松原には、早速、散歩をするお年寄りやクラブ活動で走る高校生など、たちまち酒田市民の憩いの場に早変わりしました。

最後に、万里の松原班全員で記念撮影を行い整備を終了しました。

